

(臨床研究に関する公開情報)

嬉野医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] ハイフローセラピーの適正使用について – 医療経済も考慮した検討 –

[研究責任者] 救急科 医長 山田 成美

[研究の背景]

経鼻高流量酸素療法 high-flow nasal cannula; HFNC) の有効性については近年数多く報告され、十分な加湿効果や高流量酸素による呼吸補助効果がいわれています。しかし、その開始・中止基準や適応疾患・病態については未だ明確ではなく、高流量の酸素投与を行うための装着時不快感や、カニユラの接触・圧迫による皮膚障害の合併症、また高流量酸素使用による費用も問題になることがあります。

[研究の目的]

この研究は当院におけるハイフローセラピーの使用状況を調査し、合併症発生の有無や使用時の医療コストを精査することで、医療経済面も考慮した適正使用の指針をつくることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院の全病棟でハイフローセラピー治療を受けられたすべての患者さん

●対象期間：西暦 2021 年 4 月 1 日から西暦 2023 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：特に必要ありません

カルテ情報：年齢、性別、使用日数、酸素流量、血液検査（血液ガス）、使用目的と期待された効果の有無、基礎疾患、転帰、合併症・装用不耐・挿管拒否 (Do Not Intubation ;DNI )の有無、保険適応(動脈血酸素分圧 60mmHg 以下又は経皮的動脈血酸素飽和度 90%以下)、算定状況、酸素費用と算定額

●検体や情報の管理

情報は、嬉野医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

この研究は、嬉野医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、研究に必要な情報は院内で統計処理され、院外での使用の際にはお名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は含まれません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できる情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国立病院機構嬉野医療センター

救急科 医長 山田 成美

電話番号：0954-43-1120（代表）